

日本看護連盟 ありがとうにありがとうキャンペーン

#ありがとうにありがとう

I ♥ nurse

生きる希望に寄り添いたい

しかし

大切な人の最期に立ち会えない

面会も出来ない

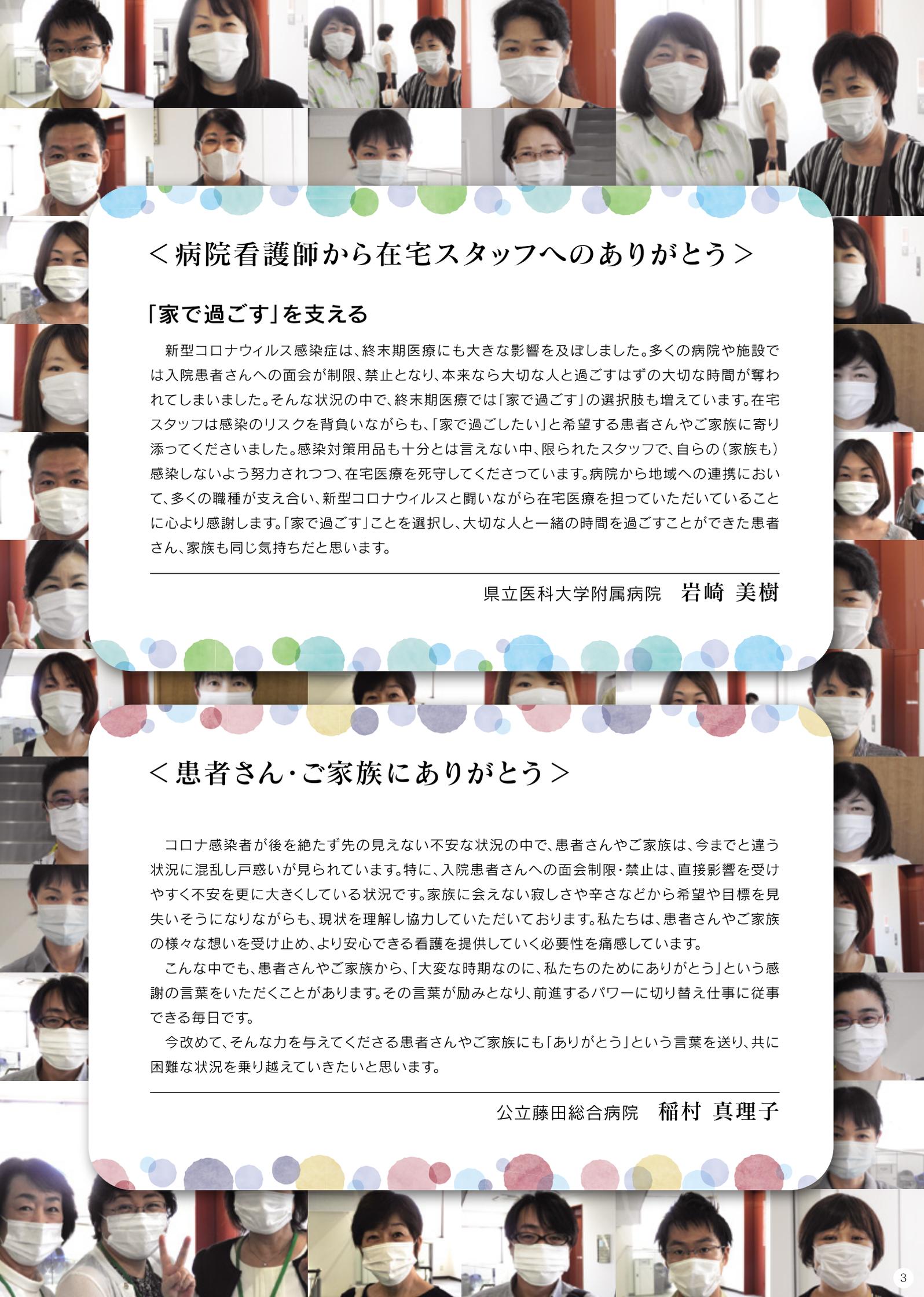
ご家族の思いは痛いほど伝わりました。

「Light blue」
「Friday Ovation」

とても温かい皆様からの支えを感じた

「ありがとう」

私達、医療者は決して希望を見失わず
患者さんや利用者さんの支えになる事
私達は諦めない



＜病院看護師から在宅スタッフへのありがとう＞

「家で過ごす」を支える

新型コロナウイルス感染症は、終末期医療にも大きな影響を及ぼしました。多くの病院や施設では入院患者さんへの面会が制限、禁止となり、本来なら大切な人と過ごすはずの大切な時間が奪われてしまいました。そんな状況の中で、終末期医療では「家で過ごす」の選択肢も増えています。在宅スタッフは感染のリスクを背負いながらも、「家で過ごしたい」と希望する患者さんやご家族に寄り添っていただきました。感染対策用品も十分とは言えない中、限られたスタッフで、自らの(家族も)感染しないよう努力されつつ、在宅医療を死守してくださっています。病院から地域への連携において、多くの職種が支え合い、新型コロナウイルスと闘いながら在宅医療を担っていただいていることに心より感謝します。「家で過ごす」ことを選択し、大切な人と一緒に時間を過ごすことができた患者さん、家族も同じ気持ちだと思います。

県立医科大学附属病院 岩崎 美樹

＜患者さん・ご家族にありがとう＞

コロナ感染者が後を絶たず先の見えない不安な状況の中で、患者さんやご家族は、今までと違う状況に混乱し戸惑いが見られています。特に、入院患者さんへの面会制限・禁止は、直接影響を受けやすく不安を更に大きくしている状況です。家族に会えない寂しさや辛さなどから希望や目標を見失いそうになりながらも、現状を理解し協力していただいております。私たちは、患者さんやご家族の様々な想いを受け止め、より安心できる看護を提供していく必要性を痛感しています。

こんな中でも、患者さんやご家族から、「大変な時期なのに、私たちのためにありがとう」という感謝の言葉をいただくことがあります。その言葉が励みとなり、前進するパワーに切り替え仕事に従事できる毎日です。

今改めて、そんな力を与えてくださる患者さんやご家族にも「ありがとう」という言葉を送り、共に困難な状況を乗り越えていきたいと思っております。

公立藤田総合病院 稲村 真理子

第2種 感染症指定医療機関 公立岩瀬病院の取り組み!!

一般病棟から専門病棟へ

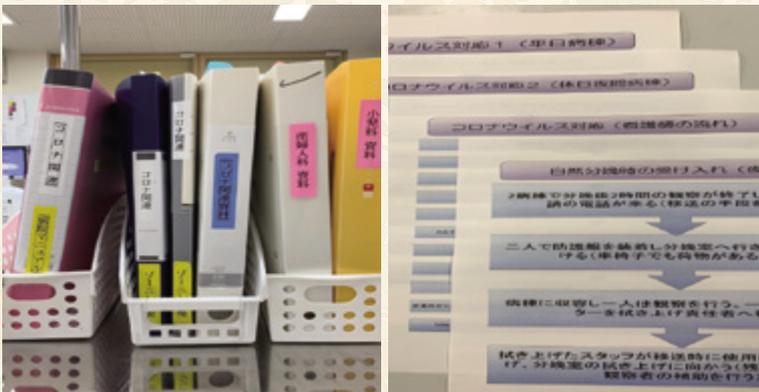
NO. 1 取り組み

①環境整備



- レッド・イエロー・グリーンゾーンの仕切り
- 病室内の備品の充実
- 外国籍の方のため翻訳機を準備

②常に最新の情報を得る



- 全てをマニュアル作成
- フロー図の作成

③防護具の着脱訓練

④PCR検体採取訓練

⑤スプラッシュガード閉鎖式吸引の訓練



専門病棟のメンタルケア

NO. 2 スタッフの思いをアンケート調査

- ◆いつまで続くのか不安
- ◆もしも自分が感染してしまったら
- ◆早く終息して欲しい
- ◆小児科・産科の対応が慣れないため不安 等々

看護部全体に働きかけ専門病棟の
スタッフの思いを理解するよう働きかけた

更にスタッフへ
シャワー室の備品を充実
休憩時ゆったりできるようベットを準備



産科での新たな取り組み

NO. 3 福島県初「オンライン母親学級」 令和2年9月5日から開始



リハーサル風景

公立岩瀬病院ではコロナ禍で見合わせていた母親学級をビデオ会議システム「zoom」を使って開始しました。

助産師、「気持ちが沈みがちな時期に少しでもストレス軽減に役立てられれば。また不安の解消につながればということで始めたいと思いました。」

オンライン母親学級はテレビ会議システムを活用して、妊婦の自宅と病棟を結ぶ。感染症に対する妊婦の不安解消にも役立つことが期待されます。

参加した妊婦の方からは好評な声が聞かれています。

看護師への給付が実現!

- * 新型コロナ患者受け入れ医療機関等で、患者と接する医療・介護・障害福祉従事者慰労金(20万・10万円)
- * その他病院・診療所や施設・ステーション等で患者と接する医療介護職員に慰労金(5万円)
- * 病院等動線確保や病床整備の補助金創設。マスク・ガウンの調達強化。公共交通の感染対策補助金
- * 訪問看護ステーション等の中小企業等の資金繰り支援の強化
- * 専門病床の空床の補償、関連診療報酬3倍
- * 妊婦の健康管理のための休業に対し給与の6割ほどの助成
- * 看護師養成の臨地実習補完のための学内演習シミュレーター等の貸与

国会議員の活動

第1次補正予算

<緊急包括支援交付金(1,490億円)感染防止対策と医療提供体制整備のため設けられた>

- 一人10万円の給付 ●子育て世帯への臨時特別給付金 ●雇用調整助成金の拡大
- 病床や軽症者受け入れ施設の確保 ●人工呼吸器等の医療整備

<地方創生臨時交付金(1兆円)>

- 地方自治体が工夫して使える予算の確保(看護師への手当や宿泊施設の確保など)

第2次補正予算

- 医療提供体制等の強化 29,892億円
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 22,370億円(医療16,279億円、介護6,091億円)
- 医療用マスク等の医療機関等への配布 4,379億円
- ワクチン・治療薬の開発等 2,055億円

福島県看護連盟 新型コロナウイルス対策の軌跡

3/27 県看護連盟16支部、訪問看護連絡協議会に情報収集

マスク・ガウン・消毒薬の不足状況把握、子どもの休校による勤務不能者、
訪問拒否利用者等の実態を自民党県連に「看護の現状と課題」として報告

4/7 看護協会と情報交換

4/21 看護協会長・連盟会長で要望書提出

提出先:①福島県知事
②自民党福島県連総務部長
要望内容:①看護職への危険手当の支給
②帰宅困難時のホテル宿泊費の補助

5/26 CGM白河(運送関連業者)よりマスク4,000枚の寄付あり

県南7施設に配布。

一般研修「看護の質とは何か」

2020年08月21日 10:30～12:00
郡山商工会議所 参加者:63名



清水将統 先生

テーマ:「今日から始めるデータ分析」

講師:北里大学 看護部情報システム担当 清水将統 先生

内容:「測れないものは評価できない」(ピーター・ドラッカー)すなわち、評価できないものは、改善できない。問題解決を客観的かつ効率的に実施するために、データ分析が必須である。また、病院では、多種多様なデータがあるため、利用するデータの特徴をふまえた分析が必要である。

研修に参加された方は、是非「自施設でのデータ分析」に取りかかってみて下さい。

リーダー研修「データを目標管理に活かす」

2020年08月21日 13:00～14:30 郡山商工会議所 参加:51名

テーマ:「問題解決のためのデータ活用」

講師:北里大学 看護部情報システム担当 清水将統 先生

内容:「経営における最も重大な過ちは、間違った答えを出すことではなく、間違った問いに答えること」(ピーター・ドラッカー)すなわち、先入観で判断せず、本当に解決すべき「問題」か、中立的な「事象」に過ぎないか判断する必要がある。また、問題解決の手順を踏まなければ、よくある落とし穴に陥ってしまう。

問題解決とは

問題は「あるべき姿と現状のギャップ」、
課題は「あるべき姿に到達するためにやるべきこと」、
目標は「課題が達成されたかどうかの指標」である。

*研修参加者から、必要以上にデータを取り満足していた自分が恥ずかしいとの声が聞かれました。不必要なデータ集めが、能力と時間の無駄になっていませんか。

*当日の体調管理、マスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスなどを行い、感染予防に配慮し、研修を行いました。





新スローガン

「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



2020.9.7(月)看護責任者訪問

- 会長・幹事長・地区幹事で15施設の看護管理者を訪問し、会員増や連盟について説明いたしました。
- 訪問15施設

- ①大原医療センター ②北福島医療センター ③プライムケア桃花林
 ④保原中央病院 ⑤梁川病院 ⑥公立藤田総合病院 ⑦あづま脳神経外科
 ⑧しのぶ病院 ⑨済生会福島病院 ⑩県立医大 ⑪済生会川俣病院 ⑫村上病院
 ⑬大原総合病院 ⑭福島看護専門学校 ⑮清水病院

* 快く対応いただきました看護責任者様方に心より感謝申し上げます。



令和2年度会員募集中!

正会員 年会費/7,000円

しゃくなげ会員(看護職OB) 年会費/5,000円

退職後も会員の継続をお願いします。

編集後記

福島県も今もなお、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況です。多くの方からの応援もいただいています。みんなで現状を共有し、乗り越えていきましょう。そして、現場から届けよう看護の声を!

● 広報委員メンバー

委員長/矢野 英治(総合南東北病院)

委員/稲村 真理子(公立藤田総合病院)

委員/岩崎 美樹(福島県立医科大学附属病院)

委員/高橋 恵子(公立岩瀬病院)